

至福のデュオ フランス音楽のタベ

クリストフ・ジョヴァニネッティ [ヴァイオリン]

＋ [ピアノ] 青柳いづみこ

CHRISTOPHE GIOVANINETTI & IZUMIKO AOYAGI DUO RECITAL

クリストフ・ジョヴァニネッティと青柳いづみこは、ともにマルセイユ音楽院に学び、伝説のデュオ、フェラス＝パルピゼの薫陶を受け、古典やフランス近代音楽を中心に研鑽を積んできました。今回が東京デビューとなります。

タイユフェール：ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ [1973]

Tailleferre : Sonatine pour violon et piano

プーランク：主題と変奏 (ピアノソロ) [1951]

Poulenc : Thème varié (piano solo)

プーランク：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ [1949]

Poulenc : Sonate pour violon et piano

フォーレ：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番 イ長調 作品13 [1877]

Fauré : Sonate pour violon et piano No.1 op.13

ラヴェル：ツィガーヌ [1924]

Ravel : Tzigane



Photo: Marie-Sophie Leturcq

2011年 9月27日(火) 19時開演 浜離宮朝日ホール

(地下鉄大江戸線築地市場駅A2出口)

主催：朝日新聞社／ミリオンコンサート協会 大阪音楽大学研究助成公演

コンサートマネージメント：ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

全指定席 ¥5,000

チケット：朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990 チケットぴあ0570-02-9999 C Nプレイガイド0570-08-9990 e+ <http://eplus.jp/>
東京文化会館チケットサービス03-5685-0650

クリストフ・ジョヴァニネッティ

Christophe Giovaninetti

[VIOLON]

指揮者レイナルド・ジョヴァニネッティの次男としてマルセイユに生まれる。パリ音楽院、ブカレスト音楽院に学び、さらにアマデウス・クワルテットのもとで研鑽を積む。1984年にイザイ・クワルテットを結成し、みずから第1ヴァイオリンをつとめ、エヴィアン国際コンクールに優勝するなど輝かしい成功をおさめる。1995年には、新しい挑戦としてフランス人とロシア人によるエリゼ・クワルテットを創設した。これら2つのクワルテットにより、デッカ、ハルモニア・ムンディ、フィリップス、ジグ=ザグ・テリトワール、ナクソス等のレーベルで数多くの録音をおこない、いずれも高い評価を得ている。また、カーネギーホール、ムジークフェライン、モーツァルテウム、ウィグモアホール、クイーンエリザベスホール、コンセルトヘボウ、パリのシャンゼリゼ劇場など世界の檜舞台に登場し、絶賛を博した。室内楽奏者としての活動も多く、オーギュスタン・デュメイ、シュロモ・ミンツ、マリア・ジョアオ・ピレシュ、ジャン=フィリップ・コラール、フランク・ブラレイ、ミシェル・ポルタルなど著名な音楽家たちと共演している。こうした活動のほかに、パリ国立高等音楽院教授として後進の指導にもあたっている。かつてメニューインは、クリストフ・ジョヴァニネッティの演奏を聴き、「私は、この天使の如き音楽家のおかげで、人生における最もピュアな音楽的感銘を受けた」と述べている。

青柳 いづみこ

Izumiko Aoyagi

[PIANO]

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。1989年、論文『ドビュッシーと世紀末の美学』により東京芸術大学より学術博士号。90年、平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と執筆を両立させる希有な存在として注目を集めており、8枚のCDが『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』（白水Uブックス）で第9回吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』（平凡社ライブラリー）で第49回日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』で第25回講談社エッセイ賞を受賞。2008年、ドビュッシー没後90周年記念として全4回の《ドビュッシー・シリーズふたたび》開催。『ドビュッシー 想念のエクトプラズム』（中公文庫）刊行。CDアルバム『ドビュッシーの時間』（カメラータ）は日本レコードアカデミー賞にノミネートされる。2009年、エドガー・ポー生誕200年を記念して『音楽になったエドガー・ポー』を東京とパリで開催、好評を博す。2010年には初の小説『水のまなざし』刊行。同年リリースのアルバム『ロマンティック・ドビュッシー』が第23回ミュージック・ペンクラブ賞を受賞。2011年、筑摩書房より『グレン・グールドー未来のピアニスト』が刊行予定。JMLセミナー入野義朗音楽研究所にて「フランス音楽の解釈と演奏法」開講。大阪音楽大学教授、青山学院大学仏文科講師。日本ショパン協会理事。オフィシャルHP: <http://ondine-i.net>



Photo: Marie-Sophie Leturcq